

敦賀発電所2号機の定期検査状況について
(加圧器逃がし弁用管台部の点検状況)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力116.0万kW)は、平成15年9月5日より第13回定期検査中のところ、加圧器^{*1}本体と加圧器逃がし弁^{*2}につながる配管(内径約130mm)との接続部である「管台部^{*3}」の点検のため、保温材を取り外したところ、管台部の表面に、ほう酸が析出(白色粉末状:約47mm×約33mm)していることを確認した。

ほう酸を除去し、スンプ測定^{*4}を実施したところ、管台の溶接部表面に極めて微小な割れを確認した。

これらのことから、1次冷却材(ほう酸を含んだ水)が管台部表面の割れから漏えいし、水分が蒸発した後、ほう酸が固化したものと確認された。

また、当該箇所他に加圧器安全弁や加圧器スプレイ弁につながる配管の管台部が4箇所あるが、ほう酸の析出は確認されなかった。

今後、当該管台部について、超音波探傷検査等の詳細点検を行い、割れの原因について調査する。

なお、この事象による環境への放射能の影響はない。

- *1) 加圧器 : 1次系冷却材の圧力を制御している機器。
- *2) 加圧器逃がし弁 : 加圧器内の圧力調整のために蒸気を逃す役割を持つ弁。
- *3) 管台部 : 加圧器逃がし弁につながる配管を接続するため、加圧器本体に溶接構造で取り付けられた台座
- *4) スンプ測定 : 金属表面の欠陥の形態をフィルムに写し取ることにより、その形態を確認すること。

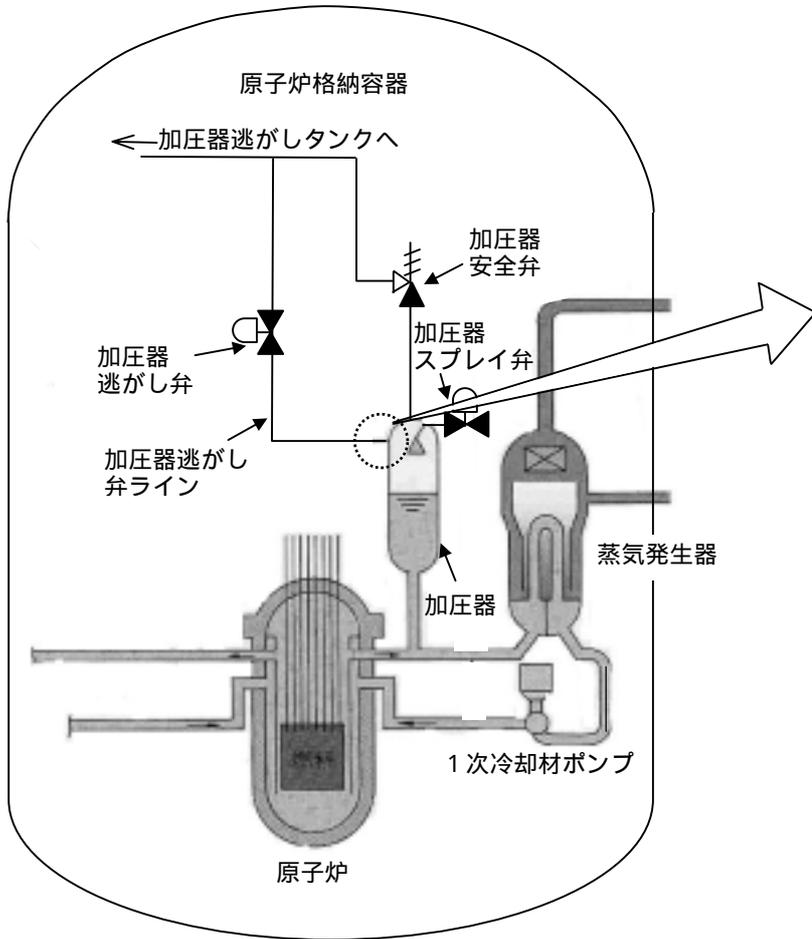
(経済産業省によるINESの暫定評価尺度)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
-	-	0+	0+

問い合わせ先(担当:小西)
内線2354・直通0776(20)0314

加压器逃がし弁用管台部の点検状況

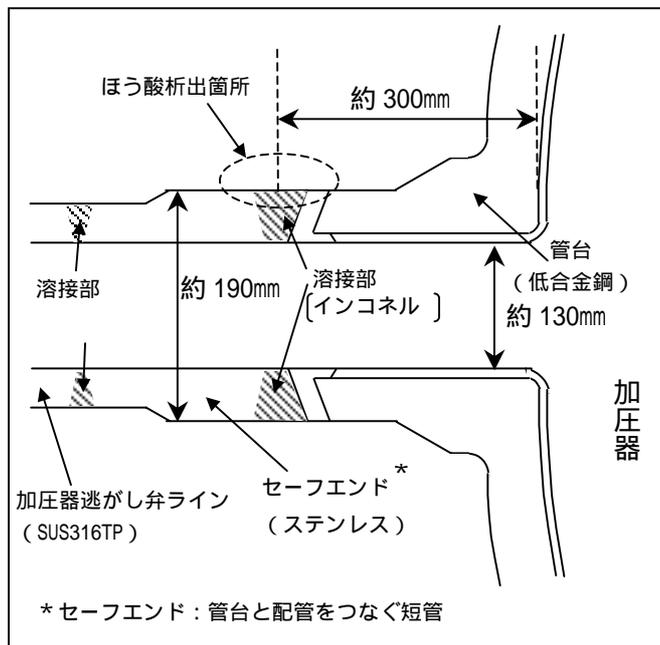
概略系統図



管台部のほう酸析出状況



管台部断面図



スンプ検査結果スケッチ図

